

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月07日

計画の名称	沼津市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	沼津市												
計画の目標	本市は、全国的な傾向と同様に、人口減少、少子高齢化が進行している。 このため、若い転入者の住宅取得等に対する補助を実施し、定住人口の確保、住宅投資の維持をはかりつつ、ユニバーサルデザイン化された公共住宅及び民間住宅の供給や空き家ストックの有効活用、住宅全体のセーフティネット機能の向上により、もって誰もが安心して暮らせる住環境の確保を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	972	A	969	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.3	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	少子高齢社会へ対応し、市民の誰もが安心して暮らせる住環境を推進する。 事業実施状況をもとにユニバーサルデザイン化された市営住宅の割合を算出する。	14%	%	40%
2	少子高齢社会へ対応し、市民の誰もが安心して暮らせる住環境を推進する。 整備計画期間内において毎年6件、合計30件の民間住宅のユニバーサルデザイン化を目標とし、実施した件数の割合を算出する。	0%	%	100%
3	少子高齢社会へ対応し、市民の誰もが安心して暮らせる住環境を推進する。 転入した若者世帯における移住定住支援施策の実施件数を毎年100件とする。（累計件数）	0件	件	300件
4	少子高齢社会へ対応し、市民の誰もが安心して暮らせる住環境を推進する。 空き家の実態把握を実施した割合を算出する（%）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
効果促進事業の割合（提案事業含む）：(C+Ac / (A+B+C+D)) = 8.8%												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	公営住宅等整備事業	既存市営住宅入居者に対する移転費補助（今沢団地）、今沢団地建替に伴う地質調査・基本計画策定・PFI導入可能性調査	沼津市						31		策定済	
	A15-002	住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	原団地、今沢団地（計15棟）の個別改善	沼津市							789		策定済
	A15-003	住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	住宅地区改良事業等（空き家再生等推進事業）	空家等対策計画のための空き家実態把握調査	沼津市							7		-
	A15-004	住宅	一般	沼津市	間接	個人	-	-	住宅地区改良事業等（空き家再生等推進事業）	転入にともない、空き家を取得・リフォームした際に補助金を交付	沼津市							5		-
	A15-005	住宅	一般	沼津市	間接	個人	-	-	若者世代住宅取得促進事業（地域住宅政策推進事業）	住宅取得等を伴う転入をした若者世帯に奨励金を交付	沼津市							123		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-006	住宅	一般	沼津市	間接	個人	-	-	重度身体障害者住宅改造費助成事業(地域住宅政策推進事業)	民間住宅改造費助成	沼津市						5	-		
	A15-007	住宅	一般	沼津市	直接	市	-	-	住宅施策のあり方検討業務(地域住宅政策推進事業)	住宅マスタープラン(住生活基本計画)策定を見据えた課題整理・検討等	沼津市						9	-		
											小計							969		
											合計							969		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	沼津市	間接	個人	-	-	重度身体障害者住宅改造費助成事業	民間住宅改造費助成	沼津市						2	-	
		市営住宅のユニバーサルデザイン化に伴い、沼津市内に在宅する重度身体障害者に適する住宅改造費を助成し、沼津全体で安全・安心な居住環境を確保する。																	
	C15-002	住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	空き家活用・流通促進事業	周知用チラシの作成業務委託	沼津市						1	-	
		空き家の活用・流通を促進することにより、地域の活性化をはかり、安心して暮らせる住環境を推進する。																	
											小計						3		
											合計						3		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額 (a)	82	60	120	110	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	82	60	120	110	
前年度からの繰越額 (d)	0	30	0	0	
支払済額 (e)	52	90	120	110	
翌年度繰越額 (f)	30	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 沼津市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○

事前評価	チェック欄
III．計画の実現可能性 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
III．計画の実現可能性 地域住宅計画を公表することとしている。	○
III．計画の実現可能性 地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。	
III．計画の実現可能性 計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	
III．計画の実現可能性 計画期間中の計画管理（モニタリング）体制が適切である。	○